

横浜市立平安小学校



平安

令和3年4月30日

学校だより

5月号

あったかハートで Hey! 安心!!

安全に、安心して生活するために

学校長 久城 博之

満開の桜の花が終わって、学校のまわりの木々は鮮やかな新緑におおわれ始めています。美しく晴れた大空風薫る5月がやってきました。

4月は、コロナ禍で「まん延等重点措置」の実施期間中ではありましたが、まず、学校内外で子どもたちが安全に安心して過ごすことができるための行事を実施しました。防犯・サイバー教室では、警察署と鶴見少年補導員の方々にお越しいただき、1, 2, 3年生は「万引きは犯罪であることを学び、やって良いことと悪いことを考えたり判断したりして、自分の生活に生かす」ことができるようにすること。4, 5, 6年生は「携帯電話やインターネットによるトラブル（恐ろしさ）について知り、インターネットの正しい使い方や使い道を考えたり判断したりして、自分の生活に生かす」ことができるようにすることを学びました。また、「交通安全教室」では、1年生は、「交通事故に合わないための正しい歩行の仕方」を、4年生は「自転車の安全な乗車のために必要な事項や正しい乗り方」を学びました。

そして、毎月行っている避難訓練では、火災発生時に安全な経路で整然と避難する訓練を行いました。その場で私がとても感心したことがあります。それは避難時の歩き方や話の聞き方です。誰一人走ったり話をしたりする子どもがいません。中でも6年生の態度が大変立派で、他学年のよき手本となっていました。ぜひ、これからの様々な学校生活の場において、リーダーシップを発揮してほしいと思います。

ところで、本校ではだれもが安心して安全に、豊かに過ごすことができるように、教職員一同、様々な場で子どもたちを支援しています。そこで、あらためて全校で確認しているのが、「平安小スタンダード」です。ここには、学校生活に必要な様々な約束事があります。4月始めに各家庭に配布させていただきましたので、ご存知のことと思います。「スタンダード」とは、「標準・基準」という意味があり、登下校時、授業、給食、清掃など、学校生活を送る上での共通理解事項がプリントには書かれています。「スタンダード」を確かめ合うことで、私たち教職員も子どもたちへの指導にぶれがなくなって、一貫性のある指導ができるのです。

しかし、このスタンダードも、徹底できていない面や改善していかなくてはならない面もあることでしょう。今後も教職員で同じ方向を向いて、指導・支援していくとともに、確かな児童理解をもとにした、よりよい「平安小スタンダード」にしていきたいと思います。

※いつも保護者の皆様には登校時に、また、下校時には各地域の見守りボランティアの皆様にご協力いただきましてありがとうございます。今後も子どもたちが安全に安心して登下校できますよう、よろしく願いいたします。